

横田基地

2022/10/5 に 東京都福生市の横田基地内にある動物病院を見学させていただきました。

現在の獣医療においてアメリカは技術や知識などが進んでおり、日本に比べ動物看護師の果たす役割も多いです。日本では今年度動物看護師が国家資格化となり、さらなるレベルアップと動物病院での役割の重要性が高まります。そのため今回のように、実際にアメリカの動物看護師の仕事を拝見し、直接お話を伺うことは大変貴重な体験でした。

今回担当していただいた動物看護師のJさんはフロリダ出身で、一般の動物病院に勤めてからフロリダ州のライセンスを取得され、その後横田基地で働き始めました。

薬剤の作用機序などの勉強が仕事に活かしていることやライセンス取得によって獣医師から任せてもらえる仕事が増えたことが喜びであると伝えてくれました。

実際の診察では問診や聴診、身体検査、採血、ワクチン接種も動物看護師がおこなっていました。出入国の手続きや書類作成など横田基地ならではの業務も多く、特に横田基地は軍施設のため軍用犬のケアが優先して行われています。軍用犬は人と同じように、兵隊として扱われ、また治療も人と同じように受けることができます。しかしどんなにおとなしい犬でも攻撃をする訓練を受けているため、軍用犬の診察時には、必ず口輪をし、ハンドラーが付き添います。保定もなるべくハンドラーにおこなってもらい、入院中も基本的には口輪をしながら対応しているそうです。そうした危険防止対策を徹底して行い、常に危険予測をしておくことも重要なことだと再認識しました。

今回の訪問では、アメリカの動物看護師の仕事の幅の広さや技術に圧倒されました。

動物看護師として大切にしていることは「患者のケアであり、獣医師はたくさんの患者を診るため1頭1頭にかかる時間が限られており、それを見落とさないようにカバーするために患者のニーズをくみとって獣医師に伝達することが大事。」と聞いた言葉に感銘を受けました。私自身も日々奮闘しているつもりでしたが、より知識をつけ、経験を積み、モチベーションを高く持った優秀な動物看護師でありたいと強く思いました。さらに獣医師をはじめ仲間の動物看護師、病院内で働くメンバーとともにより良いチームで医療を提供し続けたいと思います。

一つでも多くの笑顔を見られるようにこの貴重な経験を活かしていきたいと思います。

オールハート動物リファーマルセンター

文責：西村